

平成 23 年度京都市高齢者福祉関連予算の概要等について

1 高齢者福祉関連予算の規模 (単位：千円)

一般会計（当初予算）	平成 22 年度	平成 23 年度	差引	伸び率
高齢者福祉対策	40,364,892	42,718,072	2,353,180	5.8 %

(単位：千円)

特別会計（当初予算）	平成 22 年度	平成 23 年度	差引	伸び率
介護保険事業	94,807,000	101,231,000	6,424,000	6.8 %
老人保健	28,000	0	△ 28,000	<廃止>
後期高齢者医療	15,620,000	15,411,000	△ 209,000	△ 1.3 %

2 京都市民長寿すこやかプランに掲げた施策・事業項目に係る主な予算措置
(新規・充実項目等)

(1) 重点課題 1：認知症をはじめとする要援護高齢者及びその家族の生活支援

<取組方針>

要援護高齢者及びその家族の自立した生活を支援するため、地域の特性を踏まえて、ニーズに対応した介護サービスを量と質の面から確保するとともに、在宅生活を総合的に支援するという観点から、介護保険以外の保健福祉サービスについても引き続き充実に努めます。また、療養病床の再編成への対応についても、医療・介護の必要な方に、適切なサービスが提供できるよう取り組んでいきます。

また、認知症高齢者が住み慣れた地域で可能な限り在宅生活を継続できるよう、認知症についての正しい理解の普及、原因となる疾患の予防、早期発見、治療、相談体制の充実、認知症高齢者を介護する家族への支援、高齢者虐待防止をはじめとした高齢者の権利擁護対策等多様な側面から取組を進めます。

事業名等	内容
特別養護老人ホーム建設 助成【新規含む】 <1,805,600 千円>	特別養護老人ホーム及び小規模特別養護老人ホームを整備し、日常生活で常に介護が必要で、在宅で生活することが困難な方に、日常生活の介護、健康管理などを行う。 ○ 「健光園」【継続、移転新築】 定員 30 人⇒100 人（短期入所 20 人併設） 場所 右京区嵯峨柳田町 ○ 「嵐山寮」【継続、移転新築】 定員 50 人⇒110 人（短期入所 10 人併設） 場所 右京区太秦中山町 ○ 「日野しみずの里（仮称）」【継続、新設】 定員 110 人（短期入所 10 人併設） 場所 伏見区日野田頼町

	○ 「きたおおじ（仮称）」【新規，新設】 定員 29 人（短期入所 10 人併設） 場所 北区紫野大徳寺町 ○ 「淀シルバーコンプレックス（仮称）」【新規，新設】 定員 29 人（短期入所 10 人併設） ※小規模ケアハウス 20 人も併設 場所 伏見区淀美豆町 ○ 「ヴィラ向島サテライト（仮称）」【新規，新設】 定員 29 人（短期入所 10 人併設） 場所 伏見区横大路鉾ノ本町 ○ 「そせい苑サテライト（仮称）」【新規，新設】 定員 29 人（短期入所 20 人併設） 場所 伏見区下鳥羽南円面田町
介護老人保健施設建設 助成【新規】 <46,800 千円>	介護老人保健施設を整備し，在宅生活への復帰を目指す要介護高齢者等に対し，医学的管理の下で介護，看護，機能訓練等のサービスを提供する。 ○ 「あじさいガーデン伏見」【新規，増築】 定員 198 人⇒276 人（78 人増） 場所 伏見区向島二ノ丸町 (※開設準備経費の助成のみ)
認知症あんしん京（みやこ）づくり推進事業 【充実】 <2,832 千円>	認知症あんしんサポーターリーダー及び認知症あんしんサポーターの養成を行うとともに，認知症サポート医及びかかりつけ医研修を実施する。

(2) 重点課題 2：総合的な介護予防の推進

<取組方針>

高齢者が要介護状態になることを可能な限り予防するとともに，要介護状態になっても状態が悪化しないよう維持・改善を図るため，より一層の介護予防に関する知識・情報の普及と啓発に努めます。

また，地域包括支援センターを中心とした介護予防ケアマネジメントの体制を充実するとともに，介護予防事業対象者の把握や，対象者が個々の状況に応じて日常生活の中で自ら取り組めるようなサービス提供を行うなど，介護予防を総合的に推進します。

事業名等	内 容
地域介護予防推進事業 【充実】 ＜420,211千円＞	介護予防事業において、特定高齢者の把握が進まないことや、ケアプラン作成に係る業務負担が大きいこと等を踏まえ、国は地域支援事業実施要綱を改正した（平成22年8月6日）。この改正により、二次予防事業対象者（旧 特定高齢者）の把握方法が変更され、本事業利用対象者の増加が見込まれる。
二次予防事業対象者把握事業（旧 生活機能評価） 【見直し】 ＜226,830千円＞	二次予防事業対象者（旧 特定高齢者）の把握のために実施してきた生活機能評価（基本チェックリストと生活機能検査が一体化したもの）を廃止し、平成23年度からは基本チェックリストの郵送等による配布・回収により対象者を把握する。

(3) 重点課題3：健康増進・生きがいのづくりの推進

<取組方針>

市民が、家庭や地域において、心身ともに健やかに高齢期を過ごせるよう、生涯を通じた健康づくりの支援や情報発信を進めます。

また、高齢者が知識や経験、特技等を生かしながら、意欲や関心をもって社会活動に参加し、生きがいを感じることができるよう、地域の資源を活用した多様な活動の場づくりや環境整備、情報提供等を充実していきます。

※ 関係部局等との連携により、既存事業を引き続き推進

(4) 重点課題4：地域における総合的・継続的な支援体制の整備

<取組方針>

認知症高齢者やひとり暮らし高齢者等が増加する中、住み慣れた地域での生活の継続を支援するため、地域密着型サービスの普及・啓発と基盤整備の更なる推進等により、日常生活圏域を基本としたサービス提供体制の整備を図ります。

また、各種サービス提供機関、地域住民による自主的な活動等との連携を図り、地域全体で高齢者を見守り支えるためのネットワークづくりを進めます。

事業名等	内 容
小規模ケアハウス建設 助成【新規】 ＜92,000千円＞	小規模ケアハウスを整備し、身体機能の低下等により自立した日常生活が困難な方に、低額な料金で日常生活上必要な食事や入浴準備等の便宜を提供する。 ○ 「淀シルバーコンプレックス（仮称）」【新規、新設】 定員 20人 ※小規模特養29人、短期入所10人も併設 場所 伏見区淀美豆町

認知症高齢者グループホーム建設助成【新規】 <73,200 千円>	認知症高齢者グループホームを整備し，認知症高齢者が家庭的な雰囲気の中で共同生活を送りながら安心して生活できるサービスを提供する。 ○ 「二条城北（仮称）」【新規，新設】 定員 27 人 場所 上京区黒門通下長者町下る吉野町 （※開設準備経費の助成のみ） ○ 「龍池（仮称）」【新規，新設】 定員 27 人 場所 中京区新町通姉小路下る町頭町 ○ 「壬生（仮称）」【新規，新設】 定員 18 人 場所 中京区壬生相合町 （※開設準備経費の助成のみ）
---	---

(5) 重点課題 5：介護保険事業の適正かつ円滑な運営

<取組方針>

介護保険事業を適正かつ円滑に運営していくため，関係団体等との連携の下，ケアマネジメントや介護サービスの質の向上に取り組むとともに，保険給付の適正化を図ります。

また，介護分野における人材不足等を改善していくため，安定的な人材の確保及び育成する仕組みづくりに努めます。

事業名等	内 容
介護給付費適正化事業 <14,456 千円>	介護保険制度を安定的に運営していくため，適正な執行の確保が極めて重要であることから，以下の事業を引き続き推進していく。 ○ 認定調査状況のチェック ○ ケアプランの点検 ○ 住宅改修等の点検 ○ 医療情報との突合・縦覧点検 ○ 介護給付費通知

(6) 重点課題6：誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

＜取組方針＞

すべての世代が理解し合い、助け合える世代間の連帯と活力に満ちた共生社会を形成していくため、さまざまな機会を活用して、高齢世代と若年世代とが交流し、世代間相互の理解を深められるよう取り組んでいきます。

また、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活ができるよう、福祉施策と住宅施策やまちづくり政策が融合し、連携を更に深め、ハード・ソフトの両面から高齢者の生活環境づくりに取り組みます。

※ 関係部局等との連携により、既存事業を引き続き推進

3 介護保険事業特別会計予算の概要

(単位：千円)

項 目	22 年度当初予算額	23 年度当初予算額	差 引
保険給付費等	89,485,395	95,793,359	6,307,964
地域支援事業費	2,478,970	2,414,561	△64,409
事務費その他	2,842,635	3,023,080	180,445
合 計	94,807,000	101,231,000	6,424,000

項 目	22 年度当初予算	23 年度当初予算	差 引
第1号被保険者数	332,998 人	340,567 人	7,569 人
要介護認定者数	61,062 人	66,556 人	5,494 人